

# 川添研究室

## [物と言葉のあいだ]

生産技術研究所

<http://www.kwz.iis.u-tokyo.ac.jp>

建築設計・風景論

工学系研究科建築学専攻

## 物と言葉のあいだ

Things and Thinking

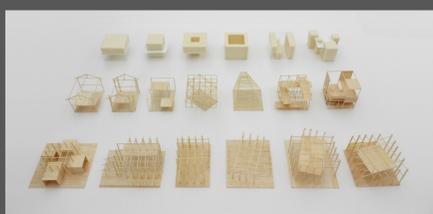
東京大学目白台国際宿舎（仮称）



撮影：小川重雄

目白台国際宿舎は、多様な文化的背景を有する学生や研究者が、日常の生活を共有しながら、世界にたいする深い想像力と豊かな感受性を養い、真の国際的視野と教養の基礎を築く生活舞台である。本宿舎は、多様な知と文化の集う世界の広場であるべきことを銘記したい。

佐野の住宅



栃木県佐野市の寺の一角に計画する住宅。寺院の歴史、施主のライフスタイルへの対応が求められた。寺院との連続性と将来的な変化に対応すべく、木造軸組を起点とし、空間を入れ子状に組み合わせている。周囲環境と調和する質素な佇まいと、開放的な生活空間を実現した。

ハウステンボススマートハウス  
-佐世保の実験住宅-

撮影：新建築社専覧部

低炭素化を実現する新しい暮らし方を検証していくための実験住宅。佐世保の造船技術を取り入れ構造材が設備材を兼ねる。躯体温度をセンシングに基づきダイナミックにコントロールすることで、地域の動的環境の中で、熱媒の流れが緩やかに変化する生物のような建築を実現した。

ハウステンボススマートホテル



エアコンに頼らずとも、心地よい空気質をデザインし快適性を追求できないだろうか。目新しい形態を目指すのではなく、放射・風が抜ける隙間、太陽をコントロールする屋根、広い自然を享受する客室をデザインし、空間の快適性を追求したホテル。

川添研究室 (S棟202)

東京大学(本郷)アカデミックコモンズ(仮称)  
新営計画

総合図書館新館は「所蔵スペースの拡張」と「新たな知の創造」という機能が求められた。自動化書庫として新たに300万冊を拡張し、地下には学生の能動的学習のためのライブラリープラザを土木技術を駆使して設けた。新旧の図書館の融合により知の集合として、新たな活動拠点となる

東京大学総合図書館（本館）大規模改修計画



撮影：小川重雄

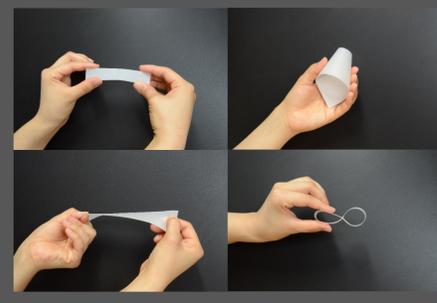
昭和3年創建の総合図書館の耐震補強を伴う大規模改修計画である。「Architectural (もの)としての価値」を残し「Historical (こと)としての価値」を継承するため、歴史の中で更新されてきた部分の保存・復元・継承を行なった。新図書館が多様で活発な知的創造の場となることを目指す。

加太プロジェクト



歴史的な漁港を持つ和歌山市加太地域を対象として現地の人口流出や高齢化などの問題を取り上げ、複数企業と現地の方々の協力のもと、ヒアリング、実測・水質調査など数多くの実態調査を行った。調査内容をもとに発表会を行い、より豊かな暮らし方を提案した。

竹尾プロジェクト



古来から人々の暮らしや文化と密接に関わってきた“紙”の新たなかたちを思索するプロジェクト。紙という素材のエッセンスを継承しながら、厚さや重さ、多様な形態を考え、建築や家具に用いてデザインすることで、建築と紙の領域を互いに広げるような可能性を模索する。